



◎ 成果

岡山県内公立図書館や公立小中学校等への寄贈は、下記の通り。(平成21年5月25日現在)

なお、平成21年5月17日の内山完造先生没後50周年記念事業に招待した岡山県内各大学および福山大学在学中の中国人留学生71名と当日の来賓には、記念品として漫画本を配布した。

寄贈先	配布数	寄贈先	配布数
岡山県内公立図書館90館	270冊	中国(北京・上海)魯迅記念館等	80冊
井原市内小中高校21校	732冊	募金協賛法人114社	342冊
笠岡市立小中学校29校	60冊	協賛金協力者(個人)	1,080冊
矢掛町内立学校9校	50冊	中国人留学生(5月17日招待)	71冊
福山市立小中学校123校	246冊	日本・中国双方の来賓(同上)	67冊
関係諸団体及び先人顕彰会・井原	352冊	合計	3,350冊

また、井原市立芳井中学校では漫画本を活用した授業が2回実施された。(下記新聞報道参照)

＜内山完造没後50周年記念事業の主な内容＞  
(17日、芳井生涯学習センター。入場無料)

10:30 テント村(日中友好どん・水ギョーザ販売、早雲太鼓演奏)、パネル展

13:00 式典

13:40 周海嬰さん講演「わが父魯迅と内山完造」

15:00 朗読コンサート(内山と魯迅の生涯をたどりながらの二胡と和琴の演奏)

16:00 閉会

### 日中友好の懸け橋 没後50年

井原・芳井中で授業

17日は魯迅長男が講演

内山の信念  
漫画で学ぶ

井原おかやま

内山の功績を描いた漫画本を使って授業を受ける芳井中の3年生

日中友好に尽力した内山完造(一八八五―一九五九年)の出身地、井原市芳井町の芳井中(以下、芳井中)で、没後五十周年事業で制作した内山の漫画本を使って生きたまを学ぶ授業があった。十七日には隣接する芳井生涯学習センターで生前交流のあった中国の文豪魯迅の長男、周海嬰さん(79)を招いての記念事業がある。(佐藤正明)

授業では三年生(三十四人)が先人顕彰会・井原制作の漫画本「内山完造の生涯」を読んで印象に残った場面を発表した。道徳担当の弓削いづみ教諭(48)は、中国・上海で内山が中国人をかまくまいた、日本人自警団に入会し、日本も日本人も同じ人間、頼ってきた

人にてきることをしただけ」と信念を曲げなかったことを紹介。生徒は「内山は誰にでも平等に接することができた人」と意見を述べた。熊原那奈江さん(14)は「記念行事で周さんから内山さんの話を聞いてみたくなった」と話していた。

内山は一九一三年、田口参天堂(現参天堂)の出張員として上海へ赴任。一七年に開業した内山書店には魯迅、日中の作家が集った。敗戦で帰国後も中国残留邦人の引き揚げに力を注ぎ、日中友好協会を設立し初代理事長に就いた。

十七日の記念事業は同顕彰会や福山市日中友好協会などをつくる実行委が主催。周さんは三〇年代、国民党政府に追われた父親とともに上海で内山に隠れ家の提供を受けた経験などを踏まえ「わが父魯迅と内山完造」と題して記念講演をする。入場無料。実行委事務局 ☎0866(72)0106。

中国新聞(平成21年5月13日)

◎ 今後の課題と問題点

1. 顕彰する先人の選定と顕彰会の活性化

市町合併(旧井原市・美星町・芳井町)に伴い、井原市にゆかりのある先人は広範囲に及ぶ。したがって興味の対象も各会員一律ではない。各年度ごとにテーマ性の高い先人を選定し、会の活動を活性化し、「自らの郷土に誇りの持てる人」を育む一助となれば幸いである。

●執筆者：片岡良仁

● 会のプロフィール

平成13年1月設立。会員164名。井原市ゆかりの先人(内山完造・雪舟等)の顕彰活動